

牧 建管 第 112 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

牧之原市長 西 原 茂 樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(報告)

このことについて、別紙のとおり報告しますのでお取り計らいの程、よろしく
お願い申し上げます。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

静岡県 牧之原市

- ・高速道路利用料金の値下げ。
- ・交通渋滞の緩和。
- ・東名高速道路での安全対策。(牧之原市の坂部地区は、事故多発地区であり、最近の死亡事故は高速道路から自動車が市道へ落下。)
- ・高速道路での事故による交通渋滞の抜本的な解決。
- ・人と車と道路が一体となった交通安全対策の促進。
- ・道路整備を進める上で優先順位を明確にし、必要な予算を確保し早期に計画通りの整備を図る。

②-1 地域の現状と抱える課題

静岡県牧之原市

○現状

牧之原市は、平成17年10月11日に榛原町と相良町との合併により誕生した市で、静岡県の南西部駿河湾の西岸に位置し、温暖な気候に恵まれ、牧之原茶は、全国でも有名なブランド品になっております。

また近年の企業進出によってものづくり産業の集積地域にも変貌してきており、志太榛原・中東遠地域の広域的連携の中で発展が期待されている地域であります。その発展の礎には、多くの国や県、さらに先人のご努力がありました。特に、社会資本であります開発型インターでは日本初の東名相良牧之原インターチェンジの完成や関連する白井工業団地も完売し、それを縦軸で結ぶ地域高規格道路・金谷御前崎連絡道路(御前崎港と東名相良牧之原インターチェンジを結ぶ)の一般国道150号バイパス及び一般国道473号バイパスの整備も進み、平成19年11月に一部区間4.7キロメートルが供用開始されました。残る国道473号バイパス北伸工区4キロメートルは、平成21年度完成を目指し着々と工事が進められております。

また、御前崎港のマイナス14メートル岸壁の整備など物流の効果が格段に向上したことにより、スズキ(株)相良工場の小型車の組み立て工場の増設により大きなうねりをこの地域にもたらしております。スズキ(株)の小型車の生産は、年間26万台を予定しており製造品出荷予定額は年間約4,500億円となり、牧之原市はもとより志太榛原・中東遠地域にとりましても経済発展に非常に大きな効果となります。

また、平成21年3月には、富士山静岡空港が開港し陸・海・空のそろった都市圏となります。

○課題

道路整備事業について

横軸であります一般国道150号の整備であります吉田町から牧之原市細江まで延長1.4キロメートルは事業着手となりましたが、片浜地区から大沢IC区間の延長4キロメートルが未だ事業着手の目途が経っておりません。牧之原市では最重要課題と位置付け各方面に要望しているところであります。

また、幹線道路の整備、スズキ(株)の工場増設に伴い、大型車、通勤車両の流入が急激に増え、付近住民の交通安全及び生活が危惧されるところであります。このため、市としては、スズキ(株)へ直接乗り入れる道路2路線(2.7キロメートル)を現在、整備するため測量設計等の実施をしている最中でありますので、ご支援の程よろしく申し上げます。

また、市民が安心して暮らすことが出来るよう老朽化した橋梁及び舗装の維持修繕事業も急務でありまして、これらの事業への国の交付金対象になるようよろしくお願いいたします。

また、道路整備事業に合わせ、陸・海・空のネットワーク化に必要な御前崎港の整備が重要となってきております。

御前崎港は、金谷御前崎連絡道路、富士山静岡空港の開港等の大型プロジェクトの進展に伴い、取扱コンテナ数が順調に増加しており、物流コストの削減及び効率面から第二バースの早期整備をよろしくお願いいたします。

牧之原市は、基本理念として市総合計画基本構想にある、市民一丸となって、ふれあいビタミンのまち、海、そら、みどりと共に生きる「幸福実現都市」をかかげております。

そのための将来都市像として、

- 1つ「みんなが主役 想いが実現するまち」
- 2つ「支えあい学びあう幸せのまち」
- 3つ「知恵や技術を活かした活力あるまち」
- 4つ「うみ・そら・みどりと共生するまち」

この4つをテーマにしております。

この実現に向け、行政経営における政策面での基本方針を8つの重点政策課題、①「協働強化」②「生涯安心」③「子育て徳育」

④「農工両善」⑤「環境行動」⑥「安全社会」⑦「地域再生」⑧「市役所改革」を掲げこの中の「地域再生」に道路、港湾、空港等の交通基盤の整備促進があります。

政令市になった静岡市と浜松市の間に位置する志太榛原・中東遠地域にあって陸・海・空・の交通ネットワークが構築され、人的・物的交流の交通拠点として重要な役割を果たすべき地域として、また基本理念の遂行を実現するため更なる発展を目指しております。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

静岡県牧之原市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・幹線道路の整備	富士山静岡空港、御前崎港、東名相良牧之原インターチェンジを結ぶ交通ネットワークの構築が最重要課題であります。 東西・南北を基軸としての幹線道路整備はスズキ(株)の相良工場増設による海外輸出、また関連企業の進出による自動車産業の拡大など牧之原市にとって欠かすことの出来ない事業であります。	横軸に一般国道 150 号バイパス、縦軸に一般国道 473 号バイパス、また富士山静岡空港への連絡道路の整備により人的交流、スズキ(株)等の自動車産業の拡大による大幅な税収の増。新規雇用者の増など牧之原市のみならず静岡県に及ぼす波及効果も大きく将来を見据えた事業として期待は大であります。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	スズキ(株)の工場増設、また関連会社の進出などにより大型車、通勤車両の大幅な増加が見込まれます。このため市民の交通安全が危惧されております。 市では、2 路線の整備、また既存の市道への歩道などの整備の実施をしている最中であります。	交通安全対策・渋滞緩和として、スズキ(株)への進入道路、市道 2 路線を整備、また既存の市道への歩道設置など対策を実施している最中です。整備されれば交通事故の減少・渋滞の緩和に大きな成果が期待されます。	